

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

公益財団法人 国際湖沼環境委員会(滋賀地区)
《国際協力・環境保全》

理事長 竹本 和彦



国際湖沼環境委員会は、1984年に滋賀県大津市で開催された世界湖沼環境会議で、国連環境計画・事務局長の提言により、「世界湖沼会議の継続開催」および「世界の湖沼環境保全のための人材育成」を目的に設立されました。

地球上に存在する水資源のうち、人間が容易に使える淡水は僅か0.01%にしかすぎず、その僅かな淡水資源の

9割が湖沼とその流域に存在しています。私たちは、この湖沼と流域の環境問題が、世界の水問題において主要な課題となるよう取組みを進めています。

2021年11月には、当委員会とメキシコのグアナフアト大学が主催し、湖沼会議では初めてとなるオンラインでの第18回

世界湖沼会議を開催し、58か国、1,032人の参加をいただきました。

また、湖沼環境保全に関する人材育成の取組みでは、開発途上国の技術系行政官や研究者を対象とした研修を32年間実施しており、70か国、550人以上の履修生を世界に輩出しています。



公益社団法人 こどものホスピスプロジェクト(大阪地区)
《日本初の地域型子どもホスピス》

代表理事 高場 秀樹



「TSURUMI 子どもホスピス」は、日本初のコミュニティ型子ども向けホスピスです。ホスピスと言っても、病院ではありません。生命を脅かす病気の子どもの学び・遊び、やってみたいと思うことを叶える取組みを通じて、「その子の生きる」を地域で支えるケア活動を行っています。そして、運営費のほとんどを寄付で賄っています。

2020年から日本中を覆ってきたコロナ禍は、私たちの活動自体をも脅かすものでした。日頃から感染対策には十分取り組んでいましたが、連携先の医療機関の緊張状態は現在も続いておりまして、寄付で運営する基盤を支えるチャリティ活動に制限がかかり大変でした。しかし、そこを諦めることなく、いつものとおり今できる限りの希望を見出そうとする歩みを止めることなく、子どもたちの笑顔につなげることができています。



どんな状況であっても、子どもの命と尊厳が最後まで大切に扱われるそんな優しい地域社会を作っていきたい。今後とも私たちの取組みに、ご声援のほどよろしくお祈りします。

人をむすぶ、こころをつなぐ

社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。